

教育文化部

教育文化部の今年を振り返って

教育文化部長 木我 和由

教育文化部は、公民館部会、人権教育部会、青少年部会の3部会で成り立っています。

今年度もコロナ禍の影響を受け、中止せざるを得ない事業が続出してしまいました。

【公民館部会】春季スポーツ大会、ふれあいの旅、区民運動会などを計画しました。それぞれの事業について、開催の可能性を探りましたが、条件が揃わず、すべて中止となってしまいました。

【人権教育部会】人権を尊び思いやりのある明るい社会を目指し、今年も住民集会や研修会を計画しました。

・住民集会は、人数を限定の上、開催いたしました。徳間小学校校長先生である龍野先生から、生徒ひとりひとりの違いを認め尊重し、共感しあい、自らの判断力を伸ばしていく人権教育の事例を紹介していただきました。そして長沼地区復興対策企画委員長の柳見澤様の講演では、災害時には、敏速な情報収集とそれを共有することの大切さ、次々に起こる課題に対して強いリーダーシップを持ち、立ち向かうことの重要性を話されました。また、今年度も小中学生による人権をテーマにした作文を広報誌“コミわか広場”の紙面に掲載いたしました。

・男女共同参画セミナーを参加人数限定の上、開催いたしました。

ジェンダーに関する身近な問題を人形劇に仕立て、楽しみながら、勉強することができました。また長野市人権・男女共同参画課 相談指導員の藤原様を講師にお迎えし、日本の男女共同参画のレベルは世界から大きく後退している事実を知り、まず日頃より意識を高め行動することが必要と感じました。

【青少年部会】次世代を担う青少年の健全な育成を目標に、今年も、子供相撲大会、ジュニア体験広場、科学体験教室、巨大迷路等を計画しましたが、すべて中止となってしまいました。

教育文化部として、人と人のふれあいを基本として成り立っている事業が多い故、2年連続で多くの事業が実施できない状況が続いております。厳しい世情ですが、今年より来年度の方がきっと良くなるだろうと願います。



住民集会



男女共同参画セミナー

市立若槻公民館

親しまれる公民館を目指して

公民館長 関 隆夫

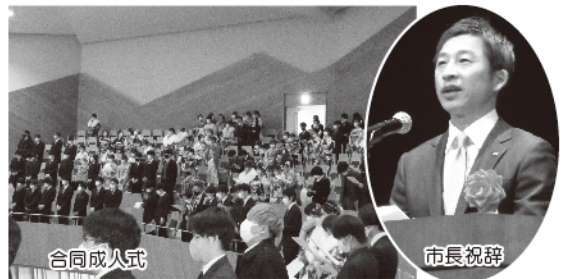
令和3年度も、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、計画していた講座の変更や延期または中止を行いながら地域の皆様に密着した事業の推進をしてきました。

特に、第一～第五・芹田・古牧・三輪・浅川・若槻・小田切地区の合同成人式は、長野県が示す感染警戒レベルが下がり実行委員会では、徹底したコロナ感染防止対策を行い実施できたことは非常にうれしい出来事のひとつでした。

新型コロナウイルスが一日も早く終息し、以前のように安心していつでも地域の皆様が公民館をご利用いただける穏やかな日々が来ることを願わずにはいません。

1月27日から新型コロナウイルス感染防止対策のため、長野県全域が「まん延防止等重点措置」の適用を受けることとなり、長野市新型コロナウイルス感染対策本部会議で1月28日(金)から「まん延防止等重点措置」の期間中は市立公民館・交流センターが一斉に休館することが決定されました。

公民館もまもなく新年度を迎える時期となりましたが来年度も、当公民館のキャッチフレーズである「出会い・ふれあい・学びあい・そして築きあい」を大切に地域の皆さまと共に歩み、世代を超えて、寄り添いながら、絆やぬくもりを大切に、学びの場・交流の場として親しみやすく明るい公民館を旨とし、学び・楽しみ・育むことが出来る講座を積極的に推進して行きたいと考えております。



合同成人式

市長祝辞

(一社) コミわかグリーン倶楽部

一年をふりかえって

(一社) コミわかグリーン倶楽部 中條 務

当社は、若槻地区内の遊休農地の解消を目的として設立されました。コロナ禍ではありましたが、本年度も会員の皆様のご尽力により、順調な事業展開ができました。

主な事業は次のとおりです。

【コミわか農園事業】10年間の市民農園サラダパーク蚊里田指定管理事業が昨年3月末で終了し、4月から南側農園(35区画)のみで改めてコミわか農園としてスタートしました。今期は新たに上野5区画、東条1区画、徳間6区画を増設し総数232区画となりました。

【皐月かがやき子ども園とのさつま芋栽培体験事業(JA吉田支所との協働事業)】苗の植え付け、収穫事業の体験をしてもらいました。さつま芋は豊作で園児は大喜びでした。

【ひまわり・ニンニク栽培事業】遊休農地を活用しひまわりを栽培し、ひまわり油として販売しました。地域農家にひまわりの種子を無料提供しました。ひまわりの連作障害対策として畑の一部にニンニクを栽培、販売しました。

【りんご体験広場事業】りんご畑をお借りして、希望者が春の花摘から摘果、着色管理、収穫、出荷まで体験し、採れたりんごはたくさんお持ち帰りいただきました。

【丸菊(ざる菊)苗の無料頒布と地区内への栽培呼びかけ】関係者のご指導ご協力を頂き、苗をコミわかで無料配布しました。